

多賀城市から「ありがとう」

伊豆の国市 3・11の震災復興支援



多賀城市民らから寄せられたメッセージ(中央と左上)を手にするスタッフ

伊豆に 11日に イベント 主催者に届く

東日本大震災から10年となる11日に、伊豆市で3110個のキヤンドルに火をともし「伊豆の真ん中から東北に送ろう! 追悼・エール・絆の灯」の主催者の元に、宮城県多賀城市民からキヤンドルに添えるメッセージが届いた。メッセージには、復旧・復興支援をした伊豆の国市民への感謝の言葉などがつづられている。

伊豆の国市と多賀城市は「全国市町村あやめサミット連絡協議会」に加盟する。災害時の相互応援協定を結んでおり、伊豆の国市は当時、現地に支援物資を届け、多賀城市民を伊豆の国市に招待した。伊豆長岡温泉の旅館に宿泊してもらい、交流を深めた。また、伊豆の国市建設業協会が復旧作業に協力。加盟社の従業員や重機などを現地に派遣した。従業員が交代で、がれき処理などに取り組ん

した皆さま方に心から感謝申し上げます「ありがとう 伊豆の国市のみなさん」「伊豆の国市ありがとう 一生涯忘れない!」など書かれている。

主催するボランティア団体「YAMANE KO楽舎」と「3・11を忘れない仲間の会」のスタッフたちは「伊豆の国の皆さんが心を込めて行ったことを、多賀城市民が感謝し10年間思い続けてくれたことに感動した。この企画のメッセージ集めを通して寄せられたことを伊豆の国の皆さんに伝えたい」と話す。